



# ふくち基弘

## 県政だよりvol.59

- 77億3615万円の補正予算等が成立
- 障がい児保育の充実や飲酒運転根絶条例制定等を求める

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

連絡先: ふくち基弘事務所  
 住 所: 広島県広島市西区己斐上2-36-7 〒733-0815  
 電話/FAX: 082-271-5369 e-mail: fucci7@enjoy.ne.jp

# 77億3615万円の補正予算等が成立



一般質問を行なうふくち基弘

9月19日から10月2日まで14日間の日程で、広島県議会9月定例会が開かれました。総額77億3615万円の補正予算や、議員提案による「広島県中小企業・小規模企業振興条例」などについて審議を行い、可決成立しました。また、「平成28年度決算認定」については、決算特別委員会を設置し閉会中の継続審査となりました。所属する民主県政会からはふくち基弘の他、西村克典議員(広島市安芸区)、金口巖議員(尾道市)が一般質問を行いました。(ふくち基弘の質問は裏面を、他の議員の質問の詳細については、広島県議会のホームページをご覧ください。)

### 平成29年度9月補正予算の主な内容

- 「学びの革新」を先導的に実践する学校の施設整備・・・8億7558万円
- 県内企業が高度人材の受入を進めるための支援強化・・・2000万円
- 三江線廃止に伴う代替バスの円滑な運行のための環境整備・・・1800万円
- 大雨災害等により被災した施設の復旧・・・28億100万円
- 広島市と連携し、国連軍縮会議の開催を支援・・・1000万円
- 防災ヘリコプターの運行に必要なエンジン部品の調達・・・2100万円

### 西村克典議員(広島市安芸区)

(質問) 広島県内の開業率を平成32年度に10%以上とする目標に対し、創業に関する現状認識と今後の取り組みについて伺う。

(答弁) 開業率10%以上の目標達成には、一層の取り組み強化が必要であり、支援体制の強化や相談体制の拡充、地域の創業熱を高めることなどに取り組む。

### 金口巖議員(尾道市)

(質問) がん患者への就労支援制度が十分活用されていない実態について、県は現状をどのように認識し今後取り組んでいこうと考えているのか。

(答弁) がんと診断された後に離職した人は3割を超える。今後とも就労支援を柱の一つと位置づけ、就労支援コーディネーター配置や企業の就労支援に取り組む。

MOTOHIRO FUKUCHI

● 平成28年度の広島県の決算の概要は下記のとおりです。9月26日、委員16人で構成される決算特別委員会が設置され、議会閉会中に審査を行い、12月定例会にて審査結果が報告され、議決されます。

### 一般会計決算の概要

- 歳入決算額・・・9775億7722万円
- 歳出決算額・・・9711億7380万円
- 翌年度繰越財源・・・40億2791万円
- 実質収支額・・・23億7551万円

### 特別会計決算の概要

- 歳入決算額・・・3400億5095万円
- 歳出決算額・・・3313億2649万円
- 翌年度繰越財源・・・1億6638万円
- 実質収支額・・・85億5808万円

郵便はがき

〒733-8790  
 広島市西区己斐上2-36-7

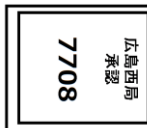
広島県議会議員 ふくち基弘事務所 行

差し支えなければご記入下さい。

お名前	(男・女)
ご住所	
電話番号	

個人情報、広島県議会議員ふくち基弘の政務調査活動以外には使用しません。

差出有効期間  
 平成31年4月  
 30日まで



科金受取人払郵便

# 障がい児保育の充実や飲酒運転根絶条例制定等を求める

9月定例会における、ふくち基弘の一般質問の概要は下記のとおりです。なお、詳細な質問内容につきましては、ふくち基弘県政だよりvol.58や広島県議会のホームページをご覧ください。

## 1. 核兵器廃絶に向けた取組について

(質問) 11月の賢人会議や国連軍縮会議の開催を国際平和拠点ひろしま構想にどのようにつなげていこうと考えているのか。

(答弁) 連携協定先である国連軍縮研究所や、ストックホルム国際平和研究所との共同研究を進めて日本政府等へ提案できるよう、ひろしまラウンドテーブル議長声明での核兵器国と非核兵器国との溝を埋めるための方策などの深化を図り、核軍縮の議論の進展に貢献してまいりたい。

## 2. 障がい児保育について

(質問) 本県には障がい児保育施設が少なく、特に医療的ケア児を預けて働くことができない状態を改善するため、県の障害児福祉計画策定にあたり、経済状況の厳しい母親等に対し十分配慮する必要があるが、母親が重度の障がい児を預けて働くことができるような環境の整備をどのように進めていこうと考えているのか。

(答弁) 医療的ケア等を行うために配置することが望ましい看護師の確保が困難な状況を踏まえ、自治体が看護師を雇い上げて医療的ケア児の受入れを行う保育所に派遣する事業が、国において今年度から実施され府中市の事業が採択されたところ。こうした事業の活用も含め、障がい児保育の環境整備を進める。



## 3. 飲酒運転根絶に向けた取組について

(質問) 飲酒運転根絶条例を制定し、社会全体が毅然として飲酒運転を拒絶すべきことをうたうことにより、飲酒運転根絶に向けた運動を強化すべきと考えるが、県は飲酒運転根絶条例の制定についてどう考えているのか。

(答弁) 飲酒運転根絶に係る条例は現在、8道県で制定されており、条例制定後毎年の飲酒運転事故減少率を全国平均と比較した場合、条例制定後の顕著な減少傾向は確認できていないため、引き続き効果検証手法も含め検討を続けてまいりたい。

急な解散総選挙と広島県知事選挙のため、9月定例会のご報告が遅くなってしまいました。ご理解賜りますようお願いいたします。

MOTOHIRO FUKUCHI

身の回りに危険や不安を感じることや、行政を通じて直してほしいこと等がありますか？

ある ない その他 ( )

(あると答えられた方のみ)具体的に問題点やご要望等をお書きください。

ご意見・ご質問などございましたら、ご自由にお書きください。

---



---



---

### 生活福祉保健委員会で県内調査

8月29日～30日の日程で、生活福祉保健委員会として県内調査を行いました。児童自立支援施設の県立広島学園や重度心身障がい児施設であるわかば療育園・松陽寮を視察するとともに、三原市の町内会「防災会」の取組や福山市の子育て応援センターの事業概要等を聴取しました。さらに(株)オガワエコノスを訪問し焼却炉の熱を利用した発電設備の稼働状況を聴取するとともに、NPO法



人子どもステーションによる子ども食堂等の取組を視察しました。